令和６年度　ちはら台地区社会福祉協議会 事業報告

全体会議及び全体行事

活　動　部　門	内　　容
総会	年１回　令和６年４月28日　（日）　コミュニティセンター
理事会	第１回　令和６年７月７日（日）　支所会議室 議題　「社協演奏会」開催等について 第２回　令和６年10月６日（日）　支所会議室 議題　「福祉のつどい」の実施等について 第３回　令和７年４月６日（日）　支所会議室 議題　令和７年度総会議案等について
役員会	毎月第４土曜日等の総務部会時　　支所会議室
部会連絡会議	第１回　令和６年６月２日（日）　支所会議室 第２回　令和６年９月８日（日）　支所会議室 第３回　令和６年12月１日（日）　支所会議室 第４回　令和７年２月16日（日）　支所会議室
第２層協議体会議	第3、4回　部会連絡会終了後実施　支所会議室
市社協評議員会	令和６年６月21日（金） 令和７年３月26日（水）
地区社協演奏会	令和６年７月27日（土）　　コミュニティセンター
福祉バザー	令和６年11月３日（日）　　コミュニティセンター
ちはら台福祉のつどい	令和６年11月17（日）　　コミュニティセンター
市社協会議（地区社協連絡会）	令和６年５月21(火)、７月30日(火)、９月24日(火)、11月26日(火)、令和７年１月28日(火)、令和７年３月25日(火)
地域主体の子供の見守り活動）	令和６年７月14日（日）～令和７年３月31日（金）
災害・ボランティア関係講習会	令和７年２月１日（土）　　支所会議室
地区行動計画進捗状況検討	令和７年２月１日（土）　　支所会議室
役員研修会	令和７年３月１日（土）　　銚子市
広報活動	広報誌「かずさのみち」年２回発行

令和６年度　ちはら台地区社会福祉協議会 部会別事業報告

総務部会

部会名	総務部会	部会長	古沢裕之
取組内容	部門定例会議の開催 ・定期総会、理事会、部会連絡会議・・・全体事業報告の通り開催 ・各会議の議事録の作成 ・総務部会 毎月１回第４土曜日に開催　年 12 回 イベント等の開催 ・演奏会　７月 27 日実施（ウクレレ演奏会） ・福祉バザー　11 月３日（日）開催 ・福祉のつどい　11 月 17 日（日）開催 ・防災講習会　令和７年２月１日開催 ・役員研修会　令和７年３月１日開催 各部門の調停業務 ・各部門の予算確保と決算の確認 広報紙「かずさのみち」作成発行 ・2 回発行		

直接支援部会

部会名	直接支援部会	部会長名	立石裕子	部会員数	51 名
取組内容	① 部会会議　窓口担当者会議（6 回開催）5/28・7/20・9/24・11/26・1/28・3/18 たすけあい隊直接支援者会議（2 回開催） 7/20　「介護保険制度」講習会 2/22　「情報共有と支援者相互の交流会」 ② 取り組み事業及び実績 ・たすけあい隊受付窓口・・・窓口開催日：230 日　担当者人数：21 名 ・相談支援・・・23 件　（転送電話・訪問での相談も含む。） 今年度は訪問しての相談・利用登録が増えている。 ・直接支援・・・276 件（預かり 4 件、付添い 231 件、家事 26 件、代行 15 件） 利用者数：36 名　支援者数：24 名 ※窓口開催時間：（月）（火）（木）（金）（土）10：00～12：00 ※窓口時間外：転送電話（携帯）でキャンセルや緊急時に対応 ③ 窓口以外での活動 8/27 いちはら地域連携型相談支援事業研修会（We ホール） 9/18 包括ケア会議（包括支援センター志津・ちはら台） 2/26 二層協議体フォローアップ会議 （ウエルシアコミュニケーションセンター） 3/3　日常生活支援事業支援者養成講座（アネッサ）				

	相談窓口	直接支援
	・日常生活の中での困りごとなどの相談を受け、「直接支援」、または「関係機関」などへ紹介。 ・月 1 回（第 3 土曜日）「福祉の総合相談会」として、地域包括支援センター、中核地域生活支援センター、市社協、民生委員と連携し開催。 （12 回開催　3 件） ・各専門機関への相談に伴い、たすけあい隊支援と連動して登録、支援に繋がった例もあった。	・コロナ・インフルエンザへの感染に気をつけながら、支援を実施している。 ・コロナ以前からの利用者に加え、新規での登録者がとても増えた。一方、施設入居や体調不良のための支援中止の増加もみられる。 ・免許返納による病院や買い物の付添い支援、草刈り・掃除・電気器具の交換など家事支援、買い物代行の依頼が以前より多くなった。 ・その他、包括支援センター・見守り支援部会や児童支援部会、民生・児童委員等との連携も増え、相互に情報交換や相談・支援につながっている。

見守り支援部会

部会名	見守り支援部会	部会長	金子　隆由
取組内容	①部会会議 ・4 月～3 月まで各月 1 回開催（但し 8 月、1 月は休会） ・見守り対象者を定期的に訪問し部会で情報を共有した ・3 カ月毎に 1 回、安心訪問結果の報告書提出 見守り訪問延べ回数　534　回（令和 7 年 3 月末現在） ②安心訪問員活動養成講座 ③学習交流会 ・市社協主催の見守り支援事業交流会に参加 ・県主催の見守り研修会に 3 名が参加 ・フォローアップ研修　6/19　21 名参加、包括支援センター講師による ・　〃　7 年 2/19　19 名参加　市社協担当者講師による ④情報交換 ・市社協及び地域包括支援センターの担当者に定例部会に参加いただき情報交換を図った		
現　況	・見守り対象者：15 名（令和 7 年 3 月末現在） ・今期は対象者 2 名が逝去され、施設等への入居者が 4 名となった。 ・安心訪問員認定者：23 名（市原市認定者）		
課　題	・独居高齢者が増加する中で、いかに対象者の発掘拡大をしていくか。		

児童支援部会

部会名	児童支援部会	部会長	河本 千鶴代
取組内容	（１）取り組み ①子育て中の親子が自由に参加し、相互に交流がはかれる場の提供 ②子育て相談支援並びに情報の提供（インスタグラム開設） （２）事業展開：親子交流，集いの場提供・子育て相談窓口支援，情報提供 ・『子育て広場』『広場のびのび』『すまいる』の運営・子ども向け公演		
	子育て広場（責任者：海宝順子）		
	(1) 部会会議：〇定例部会　12 回開催　　〇行事準備会を実施 (2) 活動報告：年間計画で毎回異なる企画(ミニ運動会やおいも掘りなど)を立てて、親子に楽しんでもらった。 〇第 2 木曜日 10 時～11 時半　計 10 回開催(8，1 月は無し) 〇場所：ちはら台コミュニティセンター・農園 〇参加者・・親子延べ 195 名　（12 月クリスマス会別掲）		
	すまいる（責任者：河本千鶴代）		
	(1) 部会会議：〇定例部会（奇数月第 2 水曜日 6 回開催） (2) 活動報告：水の江小学童保育室で、親子で遊べる場の提供・運営をした。 毎月 1 回、ベビーマッサージの体験ミニレッスンやミニイベントを実施。 直接支援部会と連携して、子ども預かり(ママレスキュー)を 4 回行った。 〇毎週火・金曜日 10 時～12 時　計 72 日開催(8 月全休) 〇場所：水の江小学童保育室 〇参加者・・親子延べ 440 名		
	広場「のびのび」（責任者：平石幸子）		
	(1) 活動報告：親子で大きく動いて遊べる場の提供・運営をした。 〇毎月第 1・3 月曜日 10 時～11 時半　計 20 回開催 〇場所：ちはら台コミュニティセンター 〇参加者・・親子延べ 250 名		

【3 事業合同開催行事】

1,『あすみ吹奏楽団演奏会』

・5 月 12 日(日)　ちはら台コミュニティセンター2 階会議室

・参加者　42 名

2，劇団風の子公演『ソノヒカギリ美術館』（コミセン共催）

・7 月 21 日(日)　ちはら台コミュニティセンター2 階会議室

・参加者　59 名

3,『クリスマス会～サンタさんに会いに行こう』（コミセン共催）

・12 月 14 日(木)　ちはら台コミュニティセンター2 階会議室

・20 人１組４グループの入れ替え制で、サンタクロースから順次プレゼントを手渡した。

・参加者　138 名

高齢者支援部会

部会名	高齢者支援部会		部会長	秋山　廣志
部会目標	地域高齢者のコミュニケーションを図り、健康増進と生きがい造りを推進するとともに、地域での孤独化を防ぐ。　児童との触れ合いを図る。			
取組事業	①　茶話会 1（年 10 回）	②　茶話会 2（年 12 回）		
事業名	ふれあい広場（茶話会）	事業名	憩いの広場　（茶話会）	
責任者	柏原　裕子	責任者	若林　弘子	
会員数	登録者数　25 名　　支援者数 17 名	会員数	登録者数　35 名　　支援者数 14 名	
実施会場	コミセン第 1、2 会議室	実施会場	コミセン第 1、2 会議室（憩いの広場） 視聴覚室（カラオケ）	
実施日時間	実施時間：10:00 から 11:30 原則第 3 木曜日に実施	実施日時間	実施時間：13:00～14:30 14:30～17:00 （カラオケ） 原則第 1 木曜日に実施	
実績	（6 年）参加者＋支援者 内容 4.18 21＋１3＝34　かずさの道散策 ・包括支援センター成富裕子氏「就活始めてみませんか？ 5.16　14＋13＝27 ボトルキャップ数合せ 6.20 26＋15 ＝41　ボッチャ- 7.18 18＋14＝32　魚つりつりなど 8 月は休会 9.19 18＋16＝34　自己紹介など 10.17 20＋13＝33　ミニボーリング 11.21 18＋17＝35　オリジナルカップ作り 12.19 18＋18＝36　クリスマス会・ビンゴ クローバーズグループ演奏＋歌声 （7 年）　1.23　支援者会議 2.20 19＋15＝34　すごろくゲームなど 3.27 20＋13＝33　かずさの道散策 ○実施内容は上記内容に加えて 健康体操、脳トレ、誕生日会祝など	実績	（6 年）参加者＋支援者 内容 4.04　24＋12＝36 茶話会ほか 5.02　22＋11＝33 茶話会ほか 6.06　21＋12＝33 茶話会ほか 7.04　22＋11＝33 茶話会ほか 8.01　22＋11＝33 茶話会ほか 9.12　20＋12＝32 茶話会ほか 10.3　21＋13＝34 茶話会ほか 11.14 18＋13＝31 茶話会ほか 12.5　28＋14＝42　クリスマス会・ビンゴ大会 （7 年）1.16　25＋16＝41 2.6　22＋15＝37 2.28　支援者慰労会 3.6　27＋15＝42 保健センター 「始めよう！フレイル予防」 ○実施内容は上記に加えて　脳トレ、体験発表など。希望者は会終了後カラオケ	

障がい者支援部会

<table>
<tr><td>部会名</td><td>障がい者支援部会</td><td>部会長</td><td>樋口　誠一郎</td></tr>
<tr><td>部会目標</td><td colspan="3">障がい者が健常者と一同に集い、ユニバーサルスポーツ、ライブコンサート、車椅子者映画鑑賞会、野外活動、カフォン教室を通じて障がい者の心と体の健康維持・向上を図り、障がい者間の連帯を強化する。</td></tr>
<tr><td rowspan="11">取組内容</td><td colspan="3">① 部会会議
毎月第 1 土曜日　13:00～15:00　コミセン実習室
部会開催 11 回、毎月部会通信及び部会ニュースを発行し部会員の情報共有を図り、活動へつなげた。それぞれ 193～204 号、101～111 号を発行した。 会議に部員 18 名中、7～10 名が参加し、直前の活動計画を審議し準備を行い、活動を推進した。</td></tr>
<tr><td colspan="2">② 虹の会</td><td>③ ユニバーサルスポーツを楽しむ</td></tr>
<tr><td colspan="2">会場:コミセン第1～3会議室
12:00～17:00</td><td>会場:コミセン体育室、ちはら台公園多目的スポーツ広場　12:00～16:50</td></tr>
<tr><td colspan="2">1.第 65 回、6 月 23 日 35 名
2.第 66 回、9 月 29 日 43 名
3.第 67 回 11 月 24 日 93 名
「Prime 楽団ライブと第 12 回ちはら台ボッチャ選手権大会」
4.第 68 回、1 月 25 日 42 名
5.第 69 回 「.第 12 回ふれあいコンサート」
出演:ロシーユ・クラリネットアンサンブル、
3 月 2 日(日)52 名
虹の会はユニバーサルスポ・アートをテーマにボッチャと音楽ライブを開催。</td><td>モルックを楽しもう(ちはら台公園)
1.第 6 回 05 月 14 日 50 名
2.第 7 回 10 月 27 日(日)94 名
ユニバーサルスポーツ(コミセン体育室
1.第 24 回　7 月 14 日 26 名
2.第 25 回　9 月 01 日 19 名
3.第 26 回　2 月 16 日 26 名
ちはら台弥生公園モルック練習会
4 月～12 月、第 1、3 日曜日　10:00～12:00
毎回 6～10 名が練習に参加。</td></tr>
<tr><td colspan="2">④ 野外体験</td><td>⑤ 車椅子者映画鑑賞会</td></tr>
<tr><td colspan="2">実施地:大網不動岩海岸
野外用車いす:HippoCampe</td><td>コミセン視聴覚室
12:00～17:00</td></tr>
<tr><td colspan="2">重度障がい児童が HippoCampe 安全に乗車できるようハーネス、救命衣の検討を行った。高気温のため催行日を変更したが、7 月、8 月重度障がい者が実施可能な日を選定できなかった。</td><td rowspan="4">1.06 月 29 日(日)8 名(1)
「エントラップメント」
2.10 月 20 日(日)9 名(1)
「プラダを着た悪魔」
3.03 月 30 日(日)8 名(2)
「マイインターン」
()数字:車いす者数</td></tr>
<tr><td colspan="2">カフォン教室</td></tr>
<tr><td colspan="2">パークシティー・リスニングルーム
原則第 3 土曜日:13:30～15:30</td></tr>
<tr><td colspan="2">月1回　フルート、ギター、カフォン、タンバリンで練習した。その成果を 67 回虹の会でギターとカフォン共演。69 回虹の会でロシーユ楽団と共演した。</td></tr>
<tr><td>成果
課題</td><td colspan="3">1. 最近、車椅子者がそれぞれユニバーサルスポーツ、車椅子者映画鑑賞会へ積極的に参加し、プレイの向上を意識して活動　映画芸術へ関心を強く寄せ、本映画鑑賞会の質の高さに感動するなど、心、身体の健康の向上に意欲を燃やし始めた。
2. ユニバーサルスポーツ「モルック」がますます広まり、他地域からの障がい者の参加がみられる。千葉労災看護専門学校生の参加が大人気となり、会場は笑顔、感動の渦を巻き起こしている。プレイ向上の意欲に対応するため練習会を 4 月～12 月まで弥生公園で実施した。
3. 「障がい者へ音楽を」モットーに、カフォン(西洋太鼓)楽器で障がい者が音楽に取り組む機会を本年 1 年間継続した。小六女子がカフォンに挑戦した。
4. 参加者のボッチャ競技のレベル向上と参加者数の増大へ適切なる対応力の強化が課題となる。</td></tr>
</table>

小域福祉ネット部会

部会名	小域福祉ネット部会	部会長	高槻　幸子
部会目標	「市原市地域福祉計画」や「市原市地域福祉活動計画」が目標とする、地域住民の誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを目指すため、地域の各種団体（自治会、民児協など）と連携・協働しながら小学校区単位において住民の日常生活を支える視点に基づく地域福祉活動の推進に努める。		
取組内容	(1) 地域主体の子どもの見守り事業の推進 ・ちはら台地区として子ども見守りの活動を実施 ・訪問員研修会を開催　7 月 14 日 ・14 ケースのご家庭を対象に 2 か月 1 回程度、2 人一組で訪問を実施 ・他市からの転入児も含め、地域主催の親子イベントの案内も行った (2) 小学校区ごとに自治会・民児協・地区社協の顔合わせ会を実施　5 月 19 日 (3) こどもの安全・安心を守る活動の推進 交通安全推進隊の活動に協力し、安全対策の取り組みを実施 (4) 各種研修会に参加 ・福祉関係者合同研修会　9 月 19 日 ・ネットワーク連絡協議会　10 月　8 日 ・子ども食堂ネットワーク研修会　12 月　8 日 ・安心生活見守り支援事業安心訪問員交流会　1 月 21 日 ・小域福祉ネットワーク連絡会議　2 月 18 日		
課題	・小学校区ごとの各種団体との情報交換の充実と地域づくりの模索、活動		